

電動ポイントレール登場で見た! デジQトレインの実力

text : FMM / photo : 羽田 洋 (特記以外)
取材協力 : コナミ株式会社

コナミMICROiRデジQトレインの電動ポイントレール4種が、ついに発売の運びとなった。これまでも開発途中の試作サンプルや基本的な仕組みなどを紹介してきたが、いよいよ本生産品が市場に出たところで、実際に使ってみた感触をもとにより突っ込んだ情報をお届けすることにしよう。コナミに設置されたデモンストレーション用レイアウトで、電動ポイントレールのすごさを確かめてきた!

配線不要・操作は簡単確実

車輪と同様、面倒な配線は一切不要。コントローラーのボタンを押すと、ポイントに向けて赤外線信号が発せられて確実に作動する。ポイント自体にも操作パネルがあり、ここで個別ID/ラインを設定する。設定されたID/ラインナンバーはパネルのウィンドウに表示されるので一目瞭然だ。こうして信号の混線を防ぐと共に、コントローラーのどのボタンにどのポイントに対応させるのかを自分で決められるのだ。電動ポイントレールは電池(単4×2)を動力として使い、コントローラーからの赤外線信号を受けて作動する仕組みだ。

列車の通過はきわめてスムーズ

さて実際に列車を走らせてみると…。直線側、曲線側ともに列車の通過は非常にスムーズで、車両が振動することもない。レールから集電する鉄道模型では、小型の車両はポイント通過の際にぎくしゃくしたり場合によっては集電不良で停まってしまうことがあるのはご存じの通りだが、デジQトレインではそんな心配が不要なのも強調しておきたい。

同時切り換えもいって簡単

鉄道模型と同等かそれ以上の機能を持つデジQトレインでは、本格的な運転を楽しみたい。で、そのためのレイアウトプランを考えたい時、渡り線などで2つのポイントを同時に切り換えたい場合がよくある。鉄道模型ではかなり込み入った配線をしなくてはな



▲コナミに出現したデジQトレインの巨大デモレイアウト。



▲電動ポイントレールの登場で、いよいよデジQトレインの高機能を生かした運転が可能になった。



▲コナミのレイアウトでデモ運転中。楽しそう!

らず、また2つのポイントマシンを同時に駆動するために、十分な余裕のある電源を用意する必要がある。デジQトレインの場合は、同時に切り換えたい2つのポイントのID/ラインを同じに設定するだけでOK。拍子抜けするほど簡単だ。



2つのポイントの同時切り換えは、ID/ラインを同じ(写真では1-1)に設定すればOKだ。

スプリングポイントとしても使用可能

デジQトレインの電動ポイントは、分岐側の閉じた側から列車が進入してもOK。たとえば直線側に開通しているポイントの曲線分岐側から列車が進んできてもスムーズに通過する。スプリングポイントとして使えるわけだ。レイアウトプランの幅が一層広がる機能だ。



▲遠方のポイントの開通方向も、LED表示によって一目でわかる。



▲分岐側の非開通方向(写真では直線側)からの列車進入もOK。スプリングポイントとして機能する。

開通表示は超便利

ポイントにLEDを使った方向表示が付いているのは便利だ。ポイントがどちらに開いているかが一目でわかる。

鉄道模型ではあるポイント进行操作するスイッチは1つだが、デジQトレインのシステムではすべてのコントローラーから操作可能だ。したがって、ポイントの開通方向がその場ではっきりわかるこの機能はとても重要になる。

この他にも、たとえば鉄道模型では電動ポイントの電源を走行用のパワーパックからとっている場合、ポイント操作時に列車のスピードが瞬間的に遅くなったりするが、デジQトレインではそんなこともない。仕組みからいって当然なのだが、鉄道模型の常識から見て「スゴイ」と思わせる。そもそものシステムがよ〜く考えられているから、こともなげに高機能ぶりを発揮するのがスゴイ。

電動ポイントは分岐側の曲線半径が176mm、角度が45度のもの(R176-45°)と、曲線半径が264mm、角度が30度のもの(R264-30°)の2種があり、もちろんそれぞれに右・左がリリーズされる。各1,980円で5月29日発売。

電動ポイントレールプレゼントキャンペーン実施中!

発売を前にして、計40名に電動ポイントレールが当たる太っ腹キャンペーンを実施中! 期間は4月1日~5月15日。下記のHPにアクセスして、応募フォーム上に必要事項を入力の上送信すればOKだ。期間中は何度でも応募できる。 <http://www.micro-ir.com/train/>

5月29日、電動ポイントレール発売と同時にリリースされる第4弾車輪は4種類。国鉄時代のスーパースターである「あの車輪」が出ることも注目だ!
P: 梅木隆秀



▲新幹線300系 2,980円



▲205系(京葉線) 2,980円



▲485系(ボンネットタイプ) 2,980円



▲キハ82系 2,980円

※485系とキハ82系は旧国鉄時代の車輪をモデルに製品化したものです。